

平成22年1月29日

観光交流課

直通 0742-34-1965 内線 2923

## 奈良・多賀城友好都市提携について

(同時開催：友好都市歴史シンポジウム～平城京をめぐる世界～)

8世紀の平城京を中心とする律令国家の東北経営の要として、724年に陸奥国の国府「多賀城」が置かれた多賀城市と、平城京が営まれた奈良市とは大変密接な関係にありました。

2010年に、奈良市が平城遷都1300年を迎えるに際し、この歴史的な<sup>よしみ</sup>誼を蘇らせるため、奈良市と多賀城市とは友好都市提携することに合意し、2月6日に盟約宣言並びに協定書の調印式を行うこととなりました。

調印は友好都市である福岡県太宰府市・大分県宇佐市の両市長の立ち合いのもと、仲川げん奈良市長と菊地健次郎多賀城市長が行い、3市から多くの行政・議会関係者や市民の皆様も参列されます。

なお、この調印式に先立ち、平城遷都1300年祭の記念事業の一環として、3市からパネリストをお迎えし、8世紀当時の日本国家の成り立ちや平城京のありようを浮き彫りにするとともに、両市の交流や相互理解を深めることを目的としたシンポジウムを開催します。

### 奈良・多賀城友好都市盟約宣言並びに協定書調印式

- 1 日時 平成22年2月6日(土) 午後3時30分～
- 2 場所 なら100年会館 中ホール(奈良市三条宮前町7-1)
- 3 友好都市提携の経緯

平成19年10月

藤原昭奈良市長(当時)が福島県・南相馬市で開催された第42回全国史跡整備市町村協議会大会に出席した際、菊地健次郎多賀城市長と友好都市提携に関する協議を行うとともに、多賀城市役所を訪問する。

平成20年10月

多賀城市・菊地市長が奈良市役所を訪問し、友好都市提携に関する協議を行う。

平成21年6月22日

「奈良・多賀城友好都市提携に関する覚書」を締結する。

平成21年11月

仲川市長が多賀城市を訪問し、友好都市提携について協議する。

盟約宣言は両市の友好都市提携を宣言するための文書、協定書は盟約宣言を受けて実施する具体的な交流事業に関する協定を結ぶための文書です。盟約宣言、協定書ともに2部作成し、両市で各1部ずつ保存します。

## 友好都市歴史シンポジウム～平城京をめぐる世界～

### 1 日時

平成22年2月6日(土) 午後1時～午後3時30分

### 2 場所

なら100年会館 中ホール(奈良市三条宮前町7-1)

### 3 主催

奈良市、財団法人自治総合センター

### 4 後援(予定)

総務省、(社)平城遷都1300年記念事業協会、奈良県、太宰府市、宇佐市、多賀城市

### 5 参加料

無料(要事前申込)

### 6 プログラム

#### (1) 基調講演

奈良文化財研究所長 たなべ 田辺 いくお 征夫氏 「平城京と東西の要」

#### (2) パネルディスカッション

ア テーマ 「奈良時代の国家像」

イ パネリスト(予定)

太宰府市：福岡大学名誉教授

おだ 小田 ふじお 富士雄 氏

宇佐市：宇佐市観光協会専務理事

おくら 小倉 しょうご 正五 氏

多賀城市：東北歴史博物館館長

しんどう 進藤 あきてる 秋輝 氏

奈良市：奈良文化財研究所長

たなべ 田辺 いくお 征夫 氏

ウ コーディネーター

国際日本文化研究センター名誉教授

せんだ 千田 みのる 稔 氏

#### (3) 交流会

シンポジウム及び調印式終了後、会費制の交流会を行います。パネリストの方々にも参加していただき、市民とパネリストおよび市民同士の交流の場とします。

ア 場所 なら100年会館中ホール ラウンジ

イ 参加者 パネリスト、太宰府市・宇佐市・多賀城市からの参加者、奈良市民

ウ 費用 1人2,000円(要事前申込)

たがじょう

## 宮城県多賀城市について

多賀城市章

多賀城市の位置



## [人口]

62,870 人(平成 21 年 11 月 30 日現在)

## [面積]

19.65 km<sup>2</sup>奈良市 (276.84 km<sup>2</sup>) の約 14 分の 1

## [市木]

サザンカ：昭和 46 年 11 月 1 日、市制施行記念として、一般公募により選ばれる。

## [市花]

あやめ：昭和 61 年 11 月 1 日、市制施行 15 周年を記念して市の花とされる。

## [主な行事]

多賀城跡あやめまつり(6月)、「壺の碑」全国俳句大会 &amp; 多賀城茶会(10月)、史都多賀城・万葉まつり(10月)など

## [おもな名所・旧跡]

- 多賀城跡附寺跡(特別史跡)

多賀城に関連する市内 5 カ所の遺跡の総称で、多賀城跡、多賀城廃寺跡、上級役人の館跡と考えられている館前遺跡、多賀城直営の製鉄所であったと考えられている柏木遺跡、陸奥国守の邸宅跡と考えられている山王遺跡・千刈田地区から構成される。

- 多賀城碑(重要文化財)

多賀城南門近くにある多賀城碑は江戸時代初めに発見され、日本三古碑のひとつに数えられている。別名「壺碑」。壺碑は古代から多くの和歌に詠まれており、松尾芭蕉もこの碑に立ち寄ったことが「おくのほそ道」に記されている。

## [市長]

菊地 健次郎(平成 18 年 8 月～)

## [位置と地形]

多賀城市は、宮城県の中央部に位置し、市の南部は仙台市と、市の北部は漁港で有名な塩竈市と隣接している。市の東部や北部には史跡が点在している一方、仙台港に近い市南部は工業地帯になっている。

## [多賀城市の歴史]

奈良時代、多賀城市には朝廷の古代東北支配の拠点「多賀城」が設置されていた。「多賀城」は蝦夷とよばれた人々を朝廷の統治下に組み入れるための軍事的拠点「鎮守府」としての性格と陸奥国支配の行政上の拠点「陸奥国府」としての性格を併せ持ち、8 世紀の東北地方において重要な役割を果たしていた。日本に現存する最古の歌集である「万葉集」の編纂者と考えら

れている<sup>おおもものやかもち</sup>大伴家持は、鎮守府将軍として「多賀城」に赴任し、そのまま亡くなっている。

東北支配の要であった「多賀城」だが、平安時代に入り、蝦夷の制圧が終了した後は徐々にその重要性を失っていった。

現在の多賀城市は昭和 46 年(1971 年)の市制施行以降、仙台市からのアクセスの良さなどからベッドタウンとしての開発が進んでいる。

### **[ 多賀城市への行き方 ]**

- ・ JR 仙台駅から仙石線利用 多賀城駅下車
- ・ JR 仙台駅から東北本線利用 国府多賀城駅下車
- ・ 仙台空港から仙台空港アクセス線利用

JR 仙台駅乗り換えで仙石線多賀城駅もしくは東北本線国府多賀城駅下車

### **[ 多賀城市の友好都市 ]**

- ・ 太宰府市（福岡県）
- ・ 天童市（山形県）

## 奈良市がすでに姉妹都市・友好都市提携をしている国内都市

## 国内姉妹都市

・**福島県郡山市** 1971年(昭和46年)8月5日提携

昭和40年(1965年)、郡山市で采女伝説にちなんだ「うねめまつり」が始まりました。奈良市にも采女伝説が伝わっていた縁により、昭和46年(1971年)8月の「うねめまつり」の際、郡山市で姉妹都市盟約宣言に調印しました。

・**福井県小浜市** 1971年(昭和46年)11月7日提携

小浜の鵜の瀬では毎年3月2日に「お水送り」が行われます。「お水送り」の水は、10日間をかけて東大寺の「若狭井」へたどり着くという伝説があり、この「お香水」を使って、東大寺の伝統行事「修二会(お水取り)」が行われます。

このような縁で、昭和46年(1971年)11月7日小浜市で姉妹都市盟約宣言に調印しました。

## 国内友好都市

・**福岡県太宰府市** 2002年(平成14年)6月27日提携

奈良時代の太宰府市は、朝廷の九州統治と外交の任にあたる官庁「大宰府」が設置されたことで、遠の朝廷とおみかどと呼ばれるなど、九州の政治・経済・文化の中心として栄え、そこを窓口として多くの大陸文化が平城京にもたらされました。また、天下の三戒壇の一つが、天平宝字5年(761年)に観世音寺に創建され、総国分寺としての東大寺に対して、筑前国分寺が建立されています。

このように、歴史的に縁が深い両市は、太宰府市の市制20周年に当たる2002年に奈良市で開催された「第11回東大寺サミット」会期中の6月27日に友好都市提携をしました。

・**大分県宇佐市** 2004年(平成16年)7月30日提携

奈良時代、聖武天皇が東大寺を建立する際、宇佐八幡は大変重要な働きをしました。八幡神は東大寺を守る神として祀られるようになり、朝廷は国家の重要な事柄について八幡神に伺いを立てるようになりました。2002年の東大寺大仏開眼1250年記念の際に宇佐八幡神輿、東大寺御神幸が再現されたことをきっかけに、2004年宇佐市で開催された「東大寺サミット・2004 in 宇佐」会期中の7月30日に友好都市提携をしました。